

弥富相生山線一部住民の請願を市議会土木交通委員会で採択

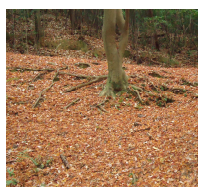
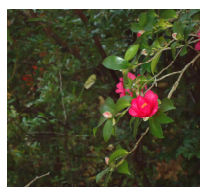
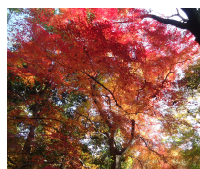
この請願は住民の意見を代表するのか？市長と当局との矛盾もくっきり

12月10日、市道弥富相生山線をめぐり、①道路早期開通 ②交通規制はしないで③住民投票をしないでという3項目の請願が採択されました。これは河村市長の①住民投票などで住民の意向調査をする ②その結果で市長が判断する ③交通規制で入り込みの問題は解決策を提示した後に「投票をする」という考えとは違う内容の請願の採択です。

11月20日に、4学区の区政協力委員長は同様の内容の要望書を市長に提出。同じ日に請願書も提出されました。委員会の席上緑政土木の幹部が「区政協力委員の考えを優先すべきだ」（中日新聞）と発言しましたが、請願の内容は必ずしも住民の考え方を反映している訳ではありません。この問題についての話し合いが地域の中で十分に行われているとは言えないのが今の状態です。

現在の生活道路への入り込みは交通違反ですし、「規制をかけることで、入り込みが解決できる」（市長談）のなら道路を作るまでもないでしょう。もし、道路が開通すれば、新たな入り込み・渋滞など、様々な交通問題が懸念されています。住民が話しあって規制をもうけ、入り込を解決した地域もあり、知恵をだしあつての解決策もありそうです。

「意向調査」「住民投票」と市長は発言していますが、未だに具体的な内容が住民に知らされないうままです。名古屋市は住民に早く公正な判断材料を提示してほしいものです。この問題を考える一助になればと市民の立場からの、情報共有のための会を開きますので、ご参加ください。



相生・高坂・野並・山根の「意向調査」をめぐって

道路と自然と暮らしを

考える市民の集い

時=2013年12月23日(月・祝)

13:30~15:30

会場=相生コミュニティセンター

名古屋市道路建設課職員/市会議員も参加予定

主催=市道弥富相生山線を考える市民の会 2013.12.17 発行

